

OS-3000 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車両に対応します。
・大阪市交通局30000系
・Osaka Metro 30000A系
本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直している導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
・プラスドライバー
・両面テープ
・本工ボンド
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
・コンパウンド(仕上げ目)[2018年発売の谷町線32607編成のみ]
・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
・楊枝、綿棒など
・ピンバイス(0.3mm, 0.5mm)
・精密ヤスリ(平、角、針ヤスリなど)
・ゴム系接着剤
・プラモデル用接着剤
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・ポンチ(プッシュピンなどでも可)
・サンドペーパー
・マスキングテープ
・瞬間接着剤
・タッチアップ・遮光用の塗料(つや消し黒)

●取り付け手順

1. 分解する

1-1 床板を外す 	1-2 妻窓を外す 	1-3 側窓を外す 	1-4 前面窓を外す 	1-5 屋根を外す 
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	妻窓を、側面との噛み合い部をコジって外します。	側窓を、前面窓との噛み合い部をコジって外します。	前面窓を、窓下面端の突起とボディの間に精密ドライバーなどを差し込んで内側に浮かせて、外します。	屋根を、天井両側のツメを押して外します。

2. 車体を加工する

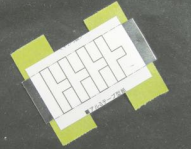





2-1 天井を加工する 	2-2 ライトの穴をあける 
天井前端を、約1.5mm切り取ります。 側面上端や前面屋根を傷つけないよう、マスキングテープなどで養生して作業することを推奨します。	天井前端の左右には、屋根の形状に合わせて三角形の出っ張りがありますが、ライトユニットと干渉するのでこれを削り取ります。 屋根の形状に合わせて三角形の部分は、前面屋根の厚さを残して、それより下をデザインナイフなどで削ります。 ヘッドライトは、銀色の正方形の部分に穴をあけます。4隅に0.3mmの穴をあけ、これらをつないで四角い穴にします。 テールライトは、赤色の長円形の部分に穴をあけます。両端に0.5mmの穴をあけ、これらをつないで長円形にします。

(2-2つづき)

2-3 側窓を加工する 	※2018編売製品の追加加工 
多少荒い仕上がりでも、あまり目立たないので大丈夫です。 この段階で、仮にライトユニットをはめてみて、十分な大きさの穴になっていることを確認します。	側窓の前端上部、運転室窓より前、上から約3mmの部分、切り取ります。 2018年発売の谷町線32607編成の場合、前面窓の尾灯部分が黒塗装で塞がれています。 ヘッドライトの開口を前面窓上端より0.5mmのところまで広げます。 写真のようにマスキングし、尾灯部分の黒塗装をカッターの先などで削り取り、仕上げ目のコンパウンドで磨きます。

3. ライトユニットを取り付ける

3-1 ライトユニットを取り付ける 	3-2 ライトユニット下面の遮光 
ライトユニット中央のリップ部分に1mm×4mmの両面テープを、ライトユニット両端に1mm×2.5mmの両面テープを貼ります。	1.5mm×9mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトユニットの黒プラスチック部分とボディの断面の間に貼ります。中央で少し重ねて、左右に1枚ずつ貼ります。

4. 配線する				
3-3 前面窓をはめる		4-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		
				
<p>前面窓をはめます。 ボディ外側から、窓下両端の突起を差し込み、次いで上側を押し込みます。</p>		<p>本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。 カッターで、4片のアルミテープを切り出します。</p> <p>側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所ずつのツメの上に載せます。</p> <p>側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼り付けます。 両側窓の前後4箇所を同じように作業します。 次いで、妻窓をはめます。</p>		
4-2 側窓下をアルミテープで結ぶ		4-3 ライトユニットへ配線する		4-4 側窓下の配線の接続
				
<p>3mm × 62mmのアルミテープを2本用意し、前後のツメの間を結ぶように貼り付けます。中央のツメは下側を通します。</p>		<p>1.5mm × 約25mmのアルミテープで、ライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。</p> <p>ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、2.5mm × 5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>		<p>4-1のアルミテープ、ライトユニットのアルミテープを接続するために、3mm × 16mmのアルミテープを貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>

OS-3000 説明書 1.00
2023/08/13 1.00 初版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15。店舗営業はしていません。
phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

